

第4学年1組 道徳科学習指導案

やさしさの輪を広げよう  
「『ありがとう』の言葉」

指導者 保田典子  
夏 純子

ねらい 海田町で身近に暮らす人々のやさしさやあたたかい思いに触れ、みんなが笑顔で暮らせるように、思いやりの心を持ち、進んで相手のためになる行動をしていこうとする心情を育てる。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

【意欲・態度】	・みんなが笑顔で暮らせるように、自分が今できることが何かを考え、進んで相手のためになる行動をしようとしている。
【スキル】	・自分の言動を見つめ、「思いやりの心」や「相手のためになる行動」について考えを深めたり、自分にできることを考えたりしている。
【自己理解】	・自分の生活を振り返り、身近な人々と互いを思いやり、相手のためになる行動をしようとしていることに気付いている。

学習の過程

児童の意識の流れ	各教科・領域と道徳科との関連	時期
友達の気持ちを考えながら一緒に楽しく過ごしていきたいな。	学級活動「学年・学級開き」 【学級活動における道徳教育の視点】 これからの学校生活で、友達と互いを思いやり気持ちよく過ごしていくことの大切さに気付き、相手のことを考えて行動していこうとする心情を育てる。	4月
気持ちが伝わるような行動や言葉遣いをしていきたい。	道徳科「『ありがとう』の言葉」 B(8) 礼儀 礼儀の意味や大切さを知り、誰に対しても真心をもって接しようとする態度を養う。【本時】	5月
心をこめてあいさつをしよう、気持ちがいいな。	あいさつ運動 【体験活動における道徳教育の視点】 身近な人々とのあいさつの体験を通して、時と場に応じて、真心がこもった気持ちのよい対応をしようとする態度を養う。	6月
やさしくしてもらおうと気持ちがあたたかくなるな。自分もそんなふうに行動していきたい。	道徳科「なにかお手つだいできることはありますか？」 B(6) 親切, 思いやり 相手のことを思いやる心を持ち、進んで親切にしようとする心情を育てる。	9月
「自分だったら」と相手のためになることを考え、行動していきたい。	道徳科「ポロといっしょに」 B(6) 親切, 思いやり 相手の気持ちを自分のこととして考え、進んで相手のためになる行動をしようとする心情を育てる。	
地域にはいろいろな立場の人々が暮らしているな。みんなが笑顔でいられるように、自分ができることを考え、実行しよう。	総合「あなたにありがとう」 【総合における道徳教育の視点】 海田町に暮らすお年寄りの方との交流活動を通して、地域の人々のあたたかい思いや努力などに気付き、相手の立場に寄り添いながら自分にできることを考え、行動しようとする心情を育てる。	10月
海田町の人々が笑顔で暮らせるように、自分たちができることを考えて実行し、やさしさの輪を広げていこう。		